

白山ナチュラルアグリ推進協議会（石川県白山市）

R5補正
R6当初

38

背景・課題

白山市鶴来地区では、稲作地帯で化学肥料を主体とした従来の水稻栽培主体に行われているが、消費者の安心安全への関心の高まりから有機農産物需要が高まっている。

水稻の有機栽培を行うに当たって、水田内の除草が大きな課題となることから、水田除草機や屑大豆を活用した除草技術を検証するとともに、有機質肥料を活用した、水稻の有機栽培体系を検証する。

また、直売所等で有機農業の取組を周知し、理解促進を図る。

成果目標

- 水田除草機を使用した機械除草と屑大豆散布（還元処理）による、化学農薬使用量の削減・除草作業時間の削減
- 有機質肥料の活用による化学肥料使用量の削減

主な取組内容

- 化学農薬を使用せず、水田除草機で2回（計1h/10a）除草した結果、収穫まで（収穫に問題ない程度に）抑草でき、手作業と比較して作業時間が75%程度削減
- 6～7月頃の深水管理・屑大豆散布による還元処理の結果、雑草発生量を80%程度抑制
- 全量有機質肥料を施用した結果、慣行とほぼ同収量となったが、倒伏や高タンパク質が懸念されることから、施肥量や時期について検討が必要
- 11月にJA直売所にて消費者への周知活動を実施



白山市

構成員

白山農業協同組合、石川県石川農林総合事務所、白山市農業振興課、有限会社アグリサポート白山、農事組合法人北辰農産、農事組合法人井ログリーンワークス

（参加：株式会社井関農機関西中部北陸支店、株式会社オーレック）

品目

水稻



●水田除草機

・6月中旬、6月下旬、の2回、計1h/10a作業



●ほ場での作業風景及び実演講習会の様子



●屑大豆散布

・6～7月頃に50kg/10a散布と深水管理することで水田水を還元化させ、雑草発生量を抑制



●屑大豆散布の様子

普及に向けた取組

この結果を踏まえ、産地戦略・栽培マニュアルを策定し、関心のある生産者への技術紹介により技術普及を図る。また、地元消費者に対し環境保全型農業（有機農業）に関する周知活動を行い、理解促進を図る。

問い合わせ先

白山農業協同組合
TEL:076-272-3333